

平成30年度学校保健統計調査
福井県の概要
(速報)

平成30年12月

福井県 総合政策部 政策統計・情報課

目 次

調査の概要	2
調査結果の概要	
1 発育状態調査	
(1)身長・体重の状況	3
ア 身長	4
イ 体重	4
(2)身長・体重の推移	5
ア 身長	5
イ 体重	8
(3)全国平均値との比較	11
ア 身長	11
イ 体重	13
2 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率	
(1)肥満傾向児および痩身傾向児の状況	15
ア 肥満傾向児	15
イ 痩身傾向児	16
(2)全国との比較	17
ア 肥満傾向児	17
イ 痩身傾向児	20
3 健康状態調査	
(1)疾病・異常等の状況	24
(2)主な疾病・異常等の推移	25
ア 裸眼視力 1.0 未満の者	25
イ 鼻・副鼻腔疾患の者	26
ウ むし歯(う歯)の者	27
エ アトピー性皮膚炎の者	28
オ ぜん息の者	29

留意事項

- 1 この報告書は、平成30年度学校保健統計調査(文部科学省所管)について、福井県分の概要をとりまとめたものである。
- 2 この報告書は、福井県ホームページの統計情報(<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei/>)にて掲載している。
- 3 この報告書の数値は速報値であり、後日、文部科学省が公表する数値をもって確定値とする。

文部科学省が公表する報告書については、文部科学省ホームページ

(http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm)で閲覧できる。

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童、生徒および幼児（以下「児童等」という。）の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校および幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（平成30年4月1日現在）までの児童等の中から次表に示す人数を抽出し、調査の対象としている。

調査実施校数および調査対象者数(福井県)

区分	平成30年5月1日 現在(※1)	調査実施校 学校数	調査対象者数					
	在籍者数 a		発育状態			健康状態		
		調査実施1校 当たりの対象人数 c	実調査 人数(※5) d	割合 e=d/a	対象人数 f	実調査人数 g	割合 h=g/a	
計	人	校		人	%	人	人	%
幼稚園・幼保連携型 認定こども園(※2)	89,252	147		12,728	14.3	該調査 年実施 の校 児に 童在 等籍 全 員	56,710	63.5
小学校(※3)	3,273	30	男女別各	22人	883	27.0	1,005	30.7
中学校(※3)	42,198	57	年齢別男女各	8人	5,431	12.9	22,343	52.9
高等学校(※4)	21,647	37	年齢別男女各	20人	4,389	20.3	15,642	72.3
	22,134	23	年齢別男女各	15人	2,025	9.1	17,720	80.1

※1 平成30年度学校基本調査による。

2 幼稚園・幼保連携型認定こども園の在籍者数は「幼稚園」と「幼保連携型認定こども園」の5歳の園児のみを計上している。

3 小学校には義務教育学校の第1～6学年の児童数を、中学校には義務教育学校の第7～9学年の生徒数をそれぞれ含む。

4 高等学校の在籍者には「通信制課程」を含まない。また実調査人数は1～3学年の生徒のみを計上している。

5 発育状態調査の実調査人数は、身長調査に係る実調査人数を計上している。

また、年齢・男女別の児童・生徒数が1校当たりの対象人数に満たない学校は該当の児童等全員を実調査人数とした。

3 調査事項

- ① 児童等の発育状態 身長、体重
- ② 児童等の健康状態 栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無および結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無

4 調査期日

平成30年4月1日から6月30日までの間に実施した。

統計表中の符号について

- 「▲」 → 計数が負数の場合
- 「-」 → 該当者がいない場合
- 「0.0」 → 計数が単位未満の場合
- 「…」 → 調査対象とならなかった場合
- 「X」 → 標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合

5 標本抽出の方法

- (1) 児童生徒数および学校数に応じ調査実施校数を学校種別に決定する。
- (2) 次の①から③の方法で調査実施校を決定する。
 - ① 学校種別に、児童・生徒数に応じ、学校を層化する。
 - ② 調査実施校数を層数で割り、1層当たりの割当学校数を求める。
 - ③ 各層内において、調査実施校を単純無作為抽出する。

調査結果の概要

1 発育状態調査

(1) 身長・体重の状況

平成 30 年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の身長および体重の福井県平均値を年齢別にみると表 1 のとおりである。

また、各年齢の過去 1 年間の年間発育量は表 2 のとおりである。

表 1 年齢別 身長・体重の平均値

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)		
		男子	女子	男女差	男子	女子	男女差
		A	B	A-B	C	D	C-D
幼稚園	5歳	110.6	110.1	0.5	19.0	19.0	0.0
	6歳	116.8	115.4	1.4	21.6	20.9	0.7
	7歳	123.0	122.4	0.6	24.3	23.9	0.4
小学校	8歳	128.8	127.8	1.0	27.4	26.8	0.6
	9歳	133.5	133.7	▲ 0.2	30.3	30.1	0.2
	10歳	139.1	140.4	▲ 1.3	34.2	33.8	0.4
	11歳	145.8	146.6	▲ 0.8	38.5	38.4	0.1
中学校	12歳	153.0	152.6	0.4	44.2	44.4	▲ 0.2
	13歳	160.6	155.6	5.0	49.3	47.8	1.5
	14歳	166.0	157.3	8.7	54.5	50.8	3.7
高等学校	15歳	168.5	156.7	11.8	59.2	51.9	7.3
	16歳	170.1	158.3	11.8	60.9	53.7	7.2
	17歳	171.1	158.2	12.9	63.4	53.8	9.6

表 2 年齢別 過去 1 年間の発育量

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長 (cm)	男子	6.0	6.3	6.3	5.5	5.2	6.6	7.7	7.3	5.4	2.7	1.1	0.6
	女子	5.8	6.8	6.1	5.7	6.8	6.5	5.4	3.5	1.8	▲ 0.1	0.6	0.0
体重 (kg)	男子	2.7	2.6	3.4	3.2	3.4	4.0	6.2	5.6	5.1	5.0	1.9	2.4
	女子	2.6	3.0	3.1	3.3	4.1	4.3	5.3	3.9	3.0	2.4	1.7	0.9

※この数値はH30年度の数値からH29年度の1歳下の値を差し引いて算出したものである。

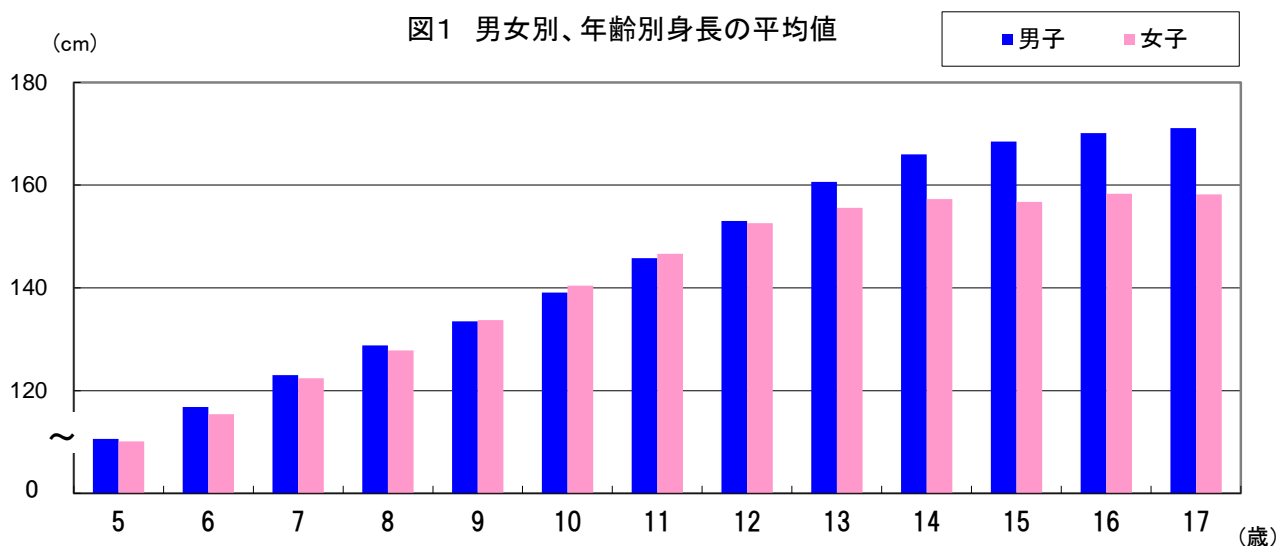
例) 17歳の発育量(身長) = H30年度の17歳(身長) - H29年度の16歳(身長)

ア 身長

男子の身長は、5歳（幼稚園）は110.6 cm、11歳（小学校6年）は145.8 cm、14歳（中学校3年）は166.0 cm、17歳（高等学校3年）は171.1 cmとなっている。年間の発育量は、12歳が7.7 cm大きくなっている。（表1、表2）

女子の身長は、5歳は110.1 cm、11歳は146.6 cm、14歳は157.3 cm、17歳は158.2 cmとなっている。年間の発育量は、7歳および10歳が6.8 cm大きくなっている。（表1、表2）

男女別で比較すると、9歳から11歳までは女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。（図1）

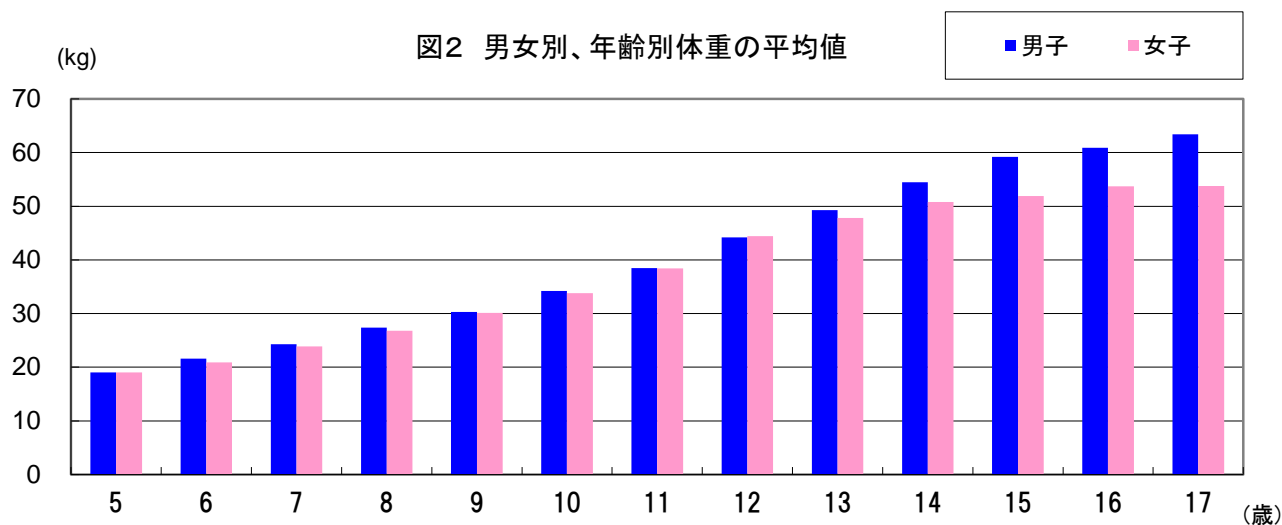


イ 体重

男子の体重は、5歳（幼稚園）は19.0 kg、11歳（小学校6年）は38.5 kg、14歳（中学校3年）は54.5 kg、17歳（高等学校3年）は63.4 kgとなっている。年間の発育量は、12歳が6.2 kg大きくなっている。（表1、表2）

女子の体重は、5歳は19.0 kg、11歳は38.4 kg、14歳は50.8 kg、17歳は53.8 kgとなっている。年間の発育量は、12歳が5.3 kg大きくなっている。（表1、表2）

男女別で比較すると、12歳では女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。（図2）



(2) 身長・体重の推移

ア 身長

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表3のとおりである。

各学校種別の最高学年の身長について平成30年度と昭和43年度（50年前）を比較すると、男女とも全学年において伸びている。最近10年間では、男女ともほぼ横ばい傾向にある。（表3）

表3 男女別、年齢別 身長の推移

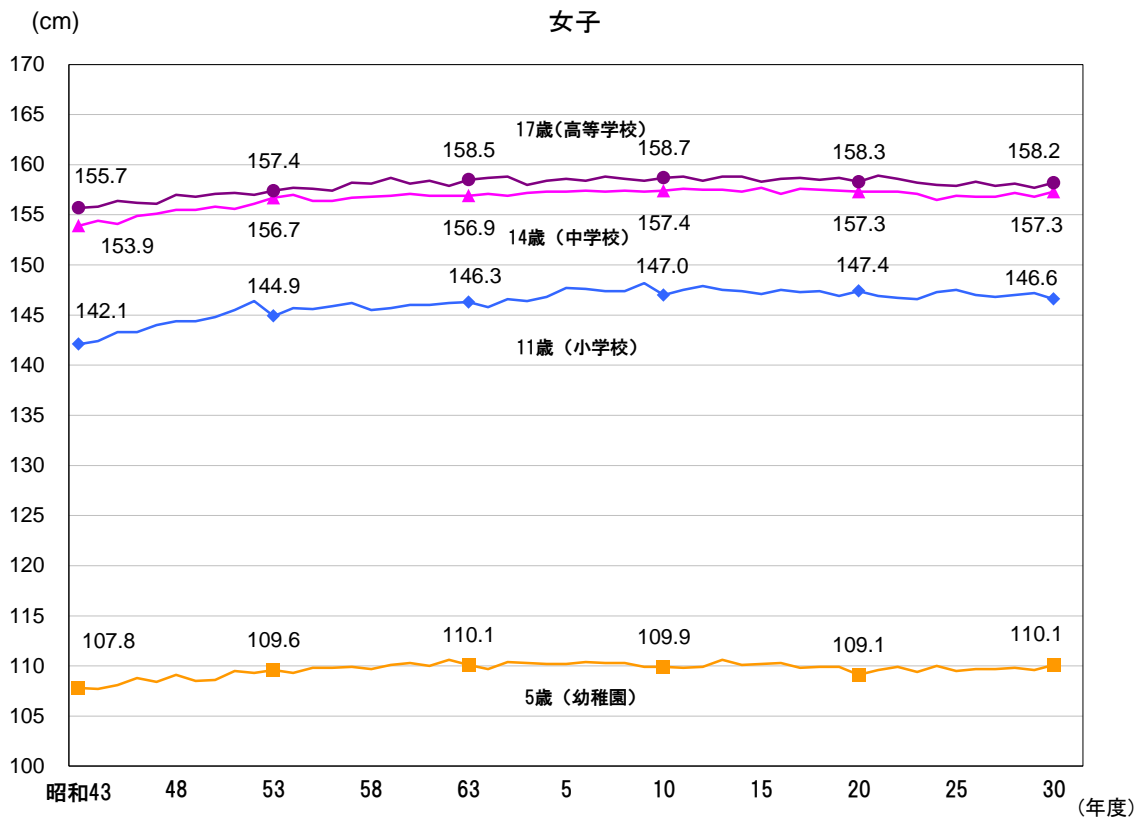
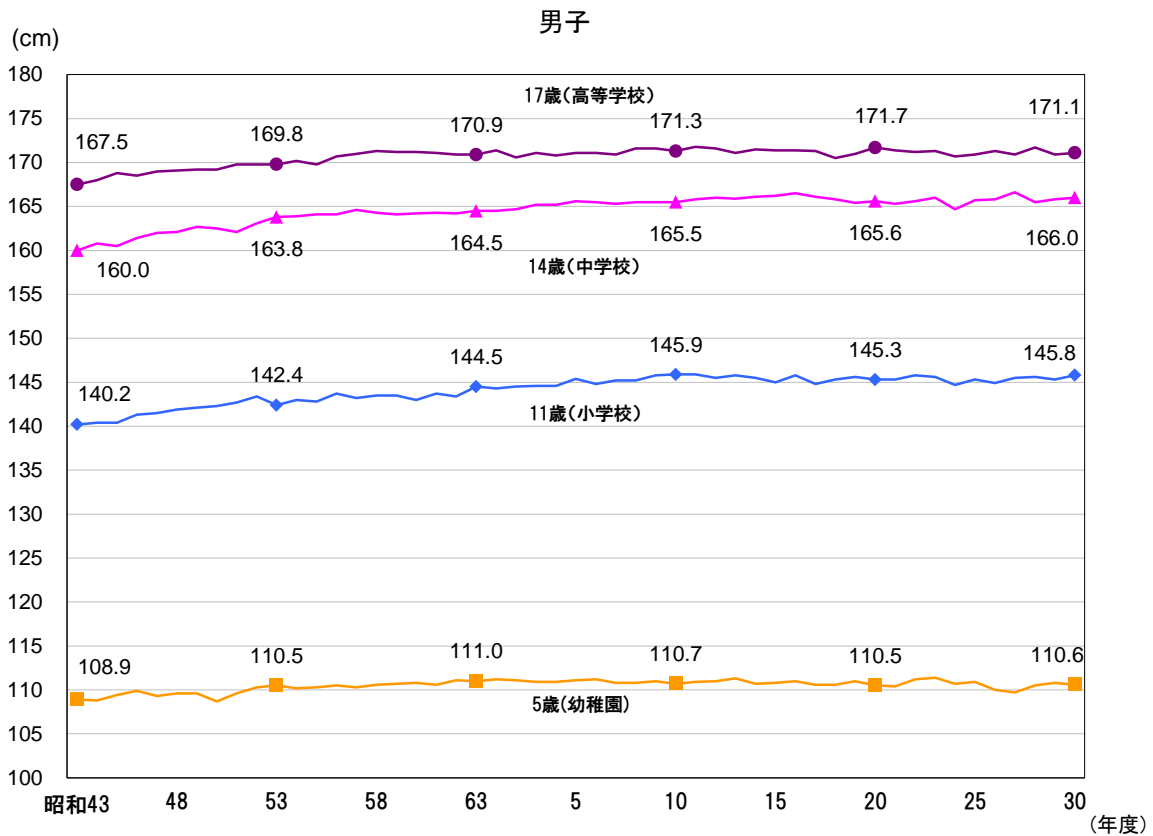
(単位：cm)

区 分	年 度									身 長 差				
	50年前	30年前	10年前	平成	平成	平成	平成	平成	平成	現在と	現在と	現在と		
	昭和 43年度	昭和 63年度	平成 20年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	50年前	30年前	10年前			
	A	B	C					D	D-A	D-B	D-C			
男 子	幼稚園	5歳	108.9	111.0	110.5	110.0	109.7	110.5	110.8	110.6	1.7	▲ 0.4	0.1	
		6歳	114.2	117.0	116.9	116.5	116.5	116.6	116.7	116.8	2.6	▲ 0.2	▲ 0.1	
		7歳	119.7	122.7	122.8	122.8	122.3	122.3	122.5	123.0	3.3	0.3	0.2	
	小学校	8歳	125.0	127.5	<u>129.2</u>	128.5	128.5	128.2	128.0	128.8	3.8	1.3	▲ 0.4	
		9歳	129.7	133.1	134.1	134.3	133.8	134.2	133.9	133.5	3.8	0.4	▲ 0.6	
		10歳	134.8	138.6	139.5	<u>139.9</u>	138.7	139.2	139.2	139.1	4.3	0.5	▲ 0.4	
		11歳	140.2	144.5	145.3	144.9	145.5	145.6	145.3	145.8	5.6	1.3	0.5	
	中学校	12歳	146.3	151.1	152.9	152.2	153.1	152.9	153.3	153.0	6.7	1.9	0.1	
		13歳	153.8	158.9	160.6	160.3	159.7	160.3	160.6	160.6	6.8	1.7	0.0	
		14歳	160.0	164.5	165.6	165.8	<u>166.6</u>	165.5	165.8	166.0	6.0	1.5	0.4	
	高等学校	15歳	164.8	167.4	168.4	169.0	169.2	168.8	169.0	168.5	3.7	1.1	0.1	
		16歳	166.7	170.1	170.8	170.6	170.9	170.2	170.5	170.1	3.4	0.0	▲ 0.7	
		17歳	167.5	170.9	171.7	171.3	170.9	171.7	170.9	171.1	3.6	0.2	▲ 0.6	
	女 子	幼稚園	5歳	107.8	110.1	109.1	109.7	109.7	109.8	109.6	110.1	2.3	0.0	1.0
			6歳	113.4	116.0	115.7	115.7	115.9	115.5	115.6	115.4	2.0	▲ 0.6	▲ 0.3
			7歳	118.9	121.9	121.8	121.9	121.6	121.4	121.7	<u>122.4</u>	3.5	0.5	0.6
		小学校	8歳	124.1	127.5	127.5	127.2	127.7	127.6	128.0	127.8	3.7	0.3	0.3
9歳			129.6	133.4	134.1	133.2	134.0	133.5	133.6	133.7	4.1	0.3	▲ 0.4	
10歳			135.7	139.7	140.5	140.3	140.3	140.4	140.1	140.4	4.7	0.7	▲ 0.1	
11歳			142.1	146.3	147.4	147.0	146.8	147.0	147.2	146.6	4.5	0.3	▲ 0.8	
中学校		12歳	148.2	151.5	152.5	152.4	151.7	152.5	152.1	152.6	4.4	1.1	0.1	
		13歳	151.7	154.9	155.9	155.0	155.2	155.0	155.5	155.6	3.9	0.7	▲ 0.3	
		14歳	153.9	156.9	157.3	156.8	156.8	157.2	156.8	157.3	3.4	0.4	0.0	
高等学校		15歳	155.0	157.6	158.1	157.3	157.9	157.2	157.7	156.7	1.7	▲ 0.9	▲ 1.4	
		16歳	155.5	158.2	158.0	157.6	157.6	157.8	158.2	158.3	2.8	0.1	0.3	
		17歳	155.7	158.5	158.3	158.3	157.9	158.1	157.7	158.2	2.5	▲ 0.3	▲ 0.1	

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

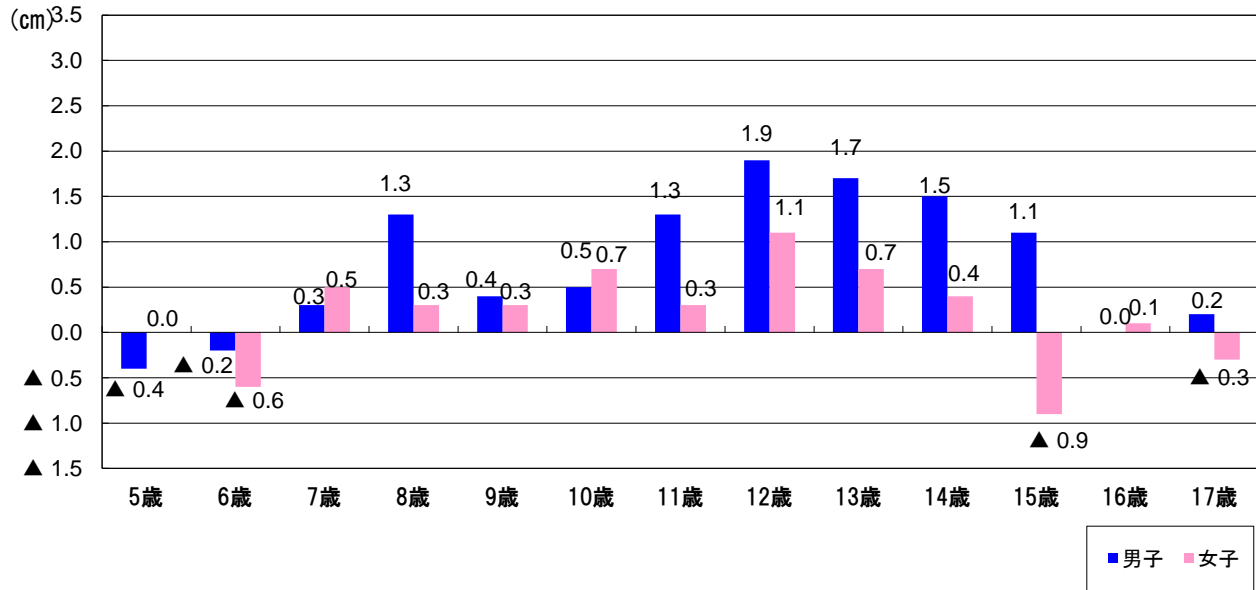
さらに詳しく平成30年度と昭和43年度の比較をみると、男子では5歳（幼稚園）は1.7cm、11歳（小学校6年）は5.6cm、14歳（中学校3年）は6.0cm、17歳（高等学校3年）は3.6cm、女子では5歳は2.3cm、11歳は4.5cm、14歳は3.4cm、17歳は2.5cm高くなっている。（表3、図3）

図3 平均身長推移（昭和43年度～平成30年度）



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和63年度調査値）との比較では、男子の5歳および6歳、女子の6歳、15歳および17歳は子世代が親世代を下回っており、男子の16歳、女子の5歳は同水準となっている、それ以外は男女とも子世代が親世代を上回っている。（図4）

図4 親子世代間の身長差（平成30年度調査値－昭和63年度調査値）



イ 体 重

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表4のとおりである。

各学校種別の最高学年の体重について、平成30年度と昭和43年度（50年前）を比較すると、男女とも全学年において増加している。（表4）

表4 男女別、年齢別体重の推移

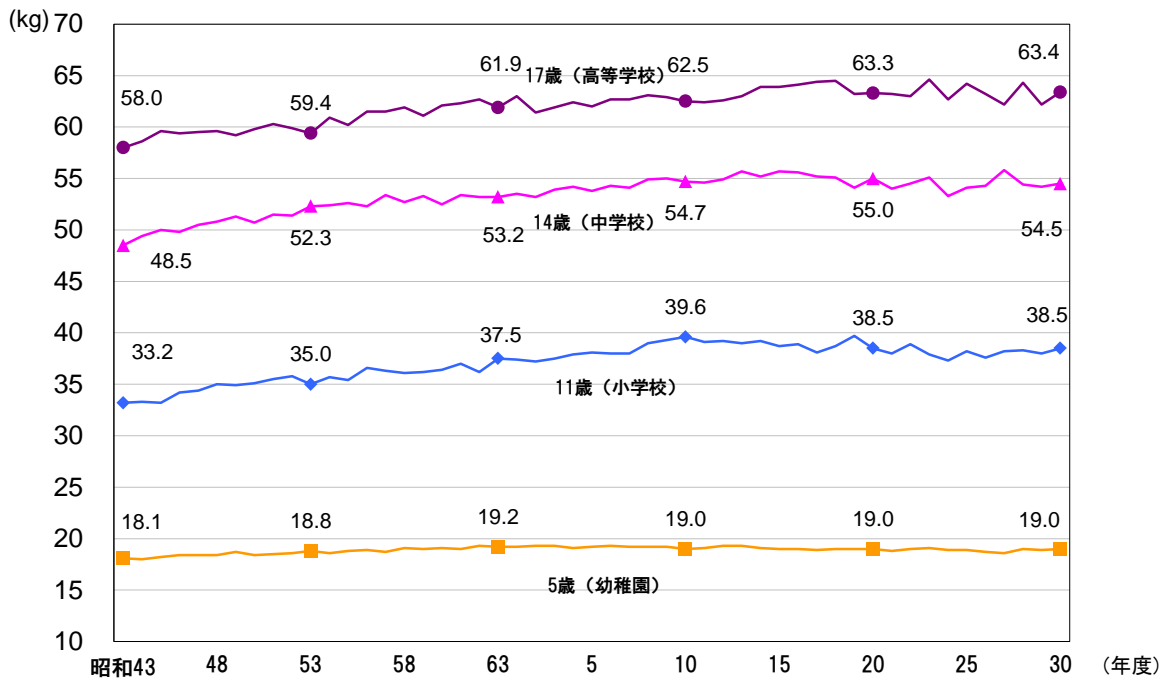
(単位：kg)

区 分			年 度								体 重 差			
			50年前	30年前	10年前	平成	平成	平成	平成	平成	現在と	現在と	現在と	
			昭和 43年度	昭和 63年度	平成 20年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	50年前	30年前	10年前	
			A	B	C	D					D-A	D-B	D-C	
男 子	幼稚園	5歳	18.1	19.2	19.0	18.7	18.6	19.0	18.9	19.0	0.9	▲ 0.2	0.0	
		6歳	19.8	21.3	21.5	21.2	21.3	21.4	21.7	21.6	1.8	0.3	0.1	
		7歳	22.1	23.7	24.4	24.1	24.0	23.9	24.0	24.3	2.2	0.6	▲ 0.1	
	小学校	8歳	24.4	26.2	27.7	27.2	27.0	27.3	27.1	27.4	3.0	1.2	▲ 0.3	
		9歳	27.1	29.9	30.8	30.4	30.1	31.1	30.8	30.3	3.2	0.4	▲ 0.5	
		10歳	30.0	33.4	34.1	34.2	33.2	33.5	34.5	34.2	4.2	0.8	0.1	
		11歳	33.2	37.5	38.5	37.6	38.2	38.3	38.0	38.5	5.3	1.0	0.0	
	中学校	12歳	37.4	43.0	44.8	43.6	43.8	44.1	43.7	44.2	6.8	1.2	▲ 0.6	
		13歳	43.2	48.2	49.5	49.1	48.6	49.2	49.4	49.3	6.1	1.1	▲ 0.2	
		14歳	48.5	53.2	55.0	54.3	55.8	54.4	54.2	54.5	6.0	1.3	▲ 0.5	
	高等学校	15歳	53.5	57.7	59.4	59.4	59.1	60.2	59.0	59.2	5.7	1.5	▲ 0.2	
		16歳	56.7	60.6	63.0	62.0	60.6	61.6	61.0	60.9	4.2	0.3	▲ 2.1	
		17歳	58.0	61.9	63.3	63.2	62.2	64.3	62.2	63.4	5.4	1.5	0.1	
	女 子	幼稚園	5歳	17.7	18.6	18.4	18.2	18.6	18.4	18.3	19.0	1.3	0.4	0.6
			6歳	19.3	20.8	21.0	20.9	20.9	20.6	20.9	20.9	1.6	0.1	▲ 0.1
			7歳	21.5	23.1	23.7	23.5	23.5	23.3	23.7	23.9	2.4	0.8	0.2
		小学校	8歳	23.9	26.1	26.6	26.0	26.5	26.4	26.8	26.8	2.9	0.7	0.2
9歳			26.8	30.0	30.3	29.4	29.7	29.4	29.7	30.1	3.3	0.1	▲ 0.2	
10歳			30.4	33.2	34.5	33.8	33.8	34.1	34.1	33.8	3.4	0.6	▲ 0.7	
11歳			34.8	37.9	39.2	38.8	38.2	38.6	39.1	38.4	3.6	0.5	▲ 0.8	
中学校		12歳	39.8	43.6	44.5	43.8	42.7	44.4	43.9	44.4	4.6	0.8	▲ 0.1	
		13歳	44.3	46.8	47.8	47.6	47.1	47.0	47.8	47.8	3.5	1.0	0.0	
		14歳	47.6	50.1	50.9	50.1	50.1	50.2	49.5	50.8	3.2	0.7	▲ 0.1	
高等学校		15歳	49.7	52.6	52.6	51.5	51.6	52.6	52.0	51.9	2.2	▲ 0.7	▲ 0.7	
		16歳	51.0	52.9	53.4	52.9	52.4	53.1	52.9	53.7	2.7	0.8	0.3	
		17歳	52.0	53.4	53.6	53.2	52.9	52.5	52.9	53.8	1.8	0.4	0.2	

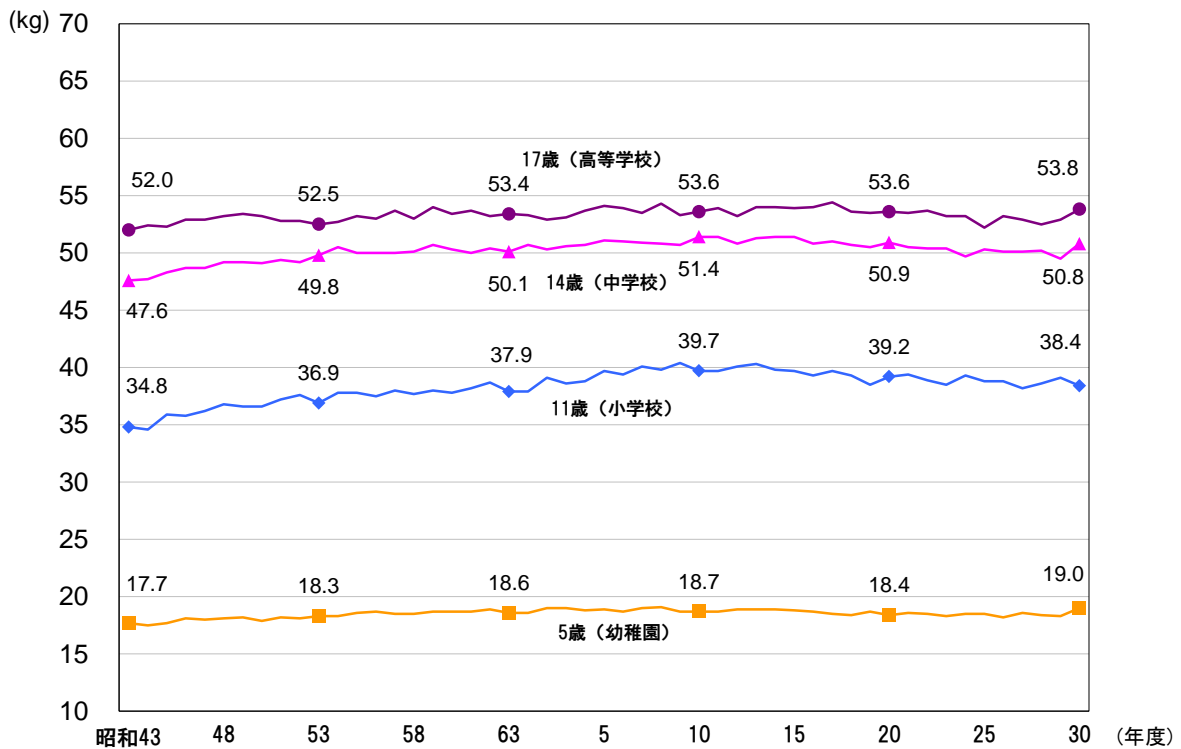
さらに詳しく平成30年度と昭和43年度の比較をみると、男子では5歳（幼稚園）は0.9kg、11歳（小学校6年）は5.3kg、14歳（中学校3年）は6.0kg、17歳（高等学校3年）は5.4kg、女子では5歳は1.3kg、11歳は3.6kg、14歳で3.2kg、17歳で1.8kg重くなっている。（表4、図5）

図5 平均体重の推移(昭和43年度～平成30年度)

男子

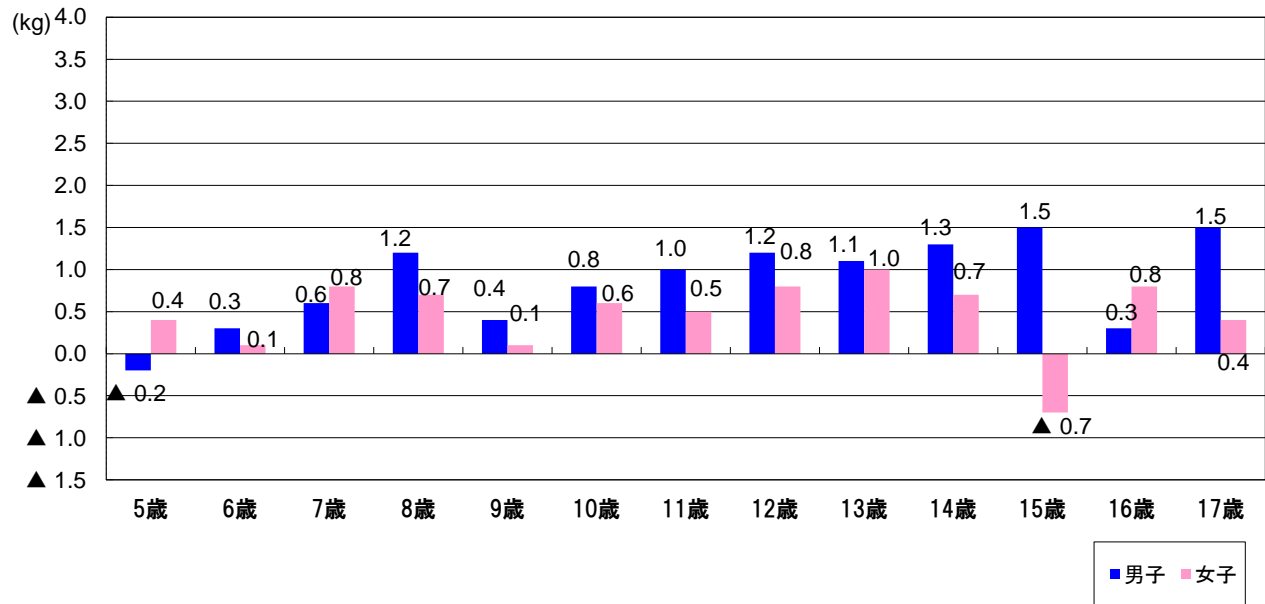


女子



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和63年度調査値）との比較では、男子の5歳および女子の15歳を除き、子世代が親世代を上回っている。（図6）

図6 親子世代間の体重差（平成30年度調査値－昭和63年度調査値）



(3) 全国平均値との比較

ア 身長

全国との比較では、男女ともにほとんどの年齢において全国平均値を上回っているが、男子では9歳、女子では6歳、11歳、15歳において全国平均値を下回っている。(図7)

全国における順位は、女子の14歳、16歳が全国2位に、5歳が全国3位となっている。(表5)

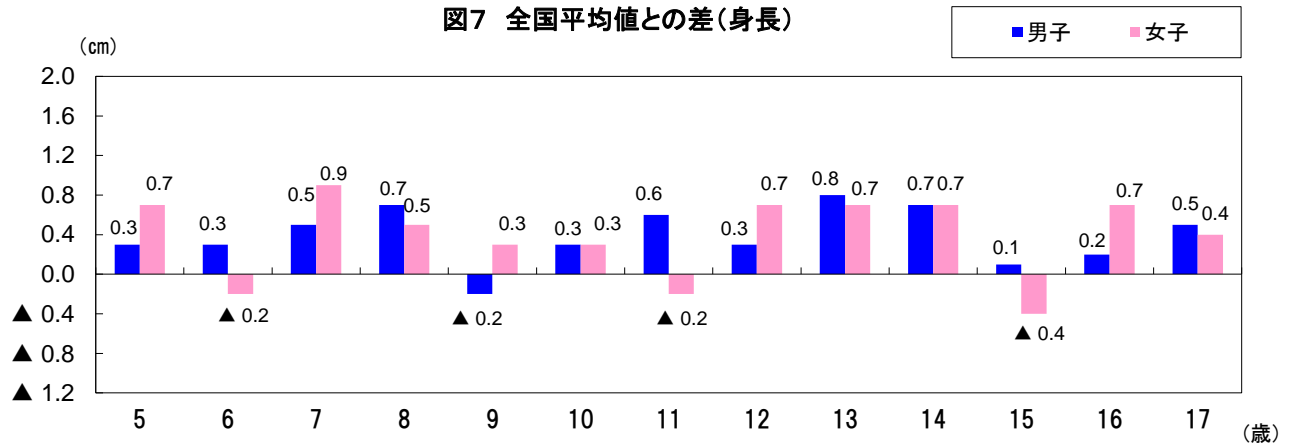


表5 本県の順位(身長)

(単位:cm、位)

区分		平成30年度							過去の順位	
		全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		29年度	28年度
男 子	5歳	110.3	110.6	9	111.5	秋田県	108.6	島根県	8	16
	6歳	116.5	116.8	7	117.3	秋田県	115.5	長崎県	11	16
	7歳	122.5	123.0	6	123.4	秋田県	121.1	沖縄県	19	25
	8歳	128.1	128.8	7	129.9	秋田県	127.2	山口県、鹿児島県、 沖縄県	29	16
	9歳	133.7	133.5	22	134.7	青森県	132.2	沖縄県	8	5
	10歳	138.8	139.1	15	140.4	青森県	137.7	愛媛県、沖縄県	16	11
	11歳	145.2	145.8	11	147.2	秋田県	143.7	山口県	18	11
	12歳	152.7	153.0	14	155.3	秋田県	151.5	島根県	11	15
	13歳	159.8	160.6	8	162.5	秋田県	158.7	岐阜県、愛媛県	9	14
	14歳	165.3	166.0	9	167.5	秋田県	164.2	高知県	8	14
	15歳	168.4	168.5	17	169.7	秋田県	167.0	沖縄県	4	5
	16歳	169.9	170.1	16	170.8	和歌山県	168.2	沖縄県	6	13
	17歳	170.6	171.1	7	171.7	青森県	168.5	沖縄県	11	3
女 子	5歳	109.4	110.1	3	110.6	秋田県	108.3	島根県	11	9
	6歳	115.6	115.4	26	116.8	青森県、新潟県	114.7	山口県	18	22
	7歳	121.5	122.4	4	123.1	秋田県	120.4	島根県、山口県	10	19
	8歳	127.3	127.8	6	128.8	秋田県	126.6	島根県、山口県	7	9
	9歳	133.4	133.7	16	135.0	秋田県	132.3	山口県	16	19
	10歳	140.1	140.4	12	142.0	青森県	139.3	長崎県	20	14
	11歳	146.8	146.6	31	148.1	青森県、秋田県	145.6	愛知県	8	16
	12歳	151.9	152.6	4	153.0	秋田県	150.7	沖縄県	11	5
	13歳	154.9	155.6	4	156.0	秋田県、石川県	153.6	沖縄県	3	14
	14歳	156.6	157.3	2	157.5	東京都	154.8	沖縄県	8	1
	15歳	157.1	156.7	27	158.2	山形県	155.0	沖縄県	3	14
16歳	157.6	158.3	2	158.9	秋田県	155.6	沖縄県	3	8	
17歳	157.8	158.2	7	158.6	神奈川県	155.9	沖縄県	20	11	

イ 体 重

全国との比較では、男子では9歳は全国平均値を下回っている。女子では10歳、11歳は全国平均値を下回っている。(図8)

全国における順位は、女子の5歳、16歳が全国5位となっている。(表6)

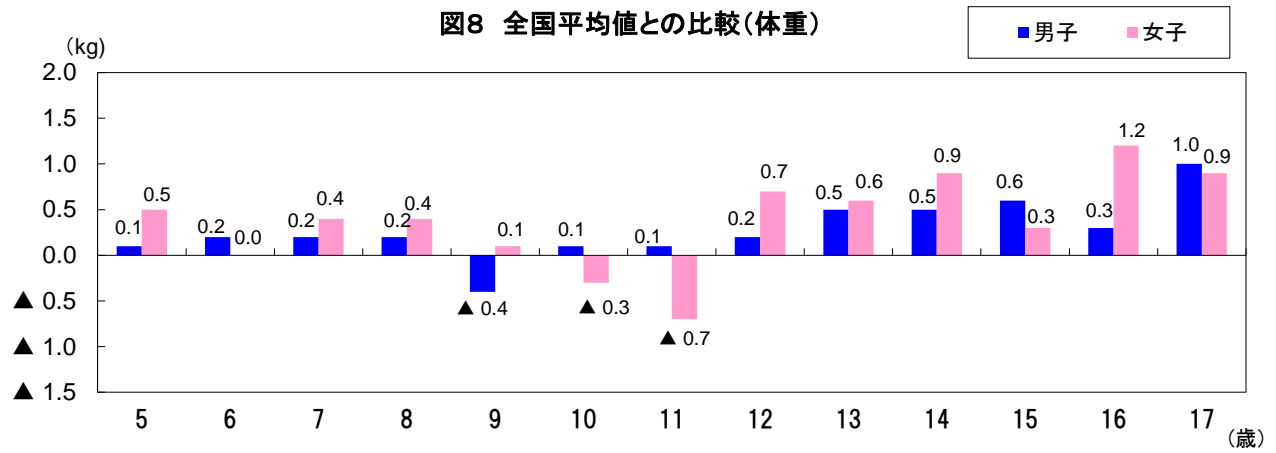


表6 本県の順位(体重)

(単位:kg、位)

区分	平成30年度							過去の順位		
	全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		29年度	28年度	
男子	5歳	18.9	19.0	14	19.7	宮城県	18.2	島根県	19	12
	6歳	21.4	21.6	12	22.3	秋田県	21.0	広島県	8	14
	7歳	24.1	24.3	15	25.2	青森県	23.7	岐阜県、愛知県、 鳥取県、島根県	27	28
	8歳	27.2	27.4	13	29.2	秋田県	26.5	京都府、島根県	23	14
	9歳	30.7	30.3	35	32.6	青森県	29.7	愛知県	15	9
	10歳	34.1	34.2	20	36.4	秋田県	33.0	広島県	13	35
	11歳	38.4	38.5	20	41.6	秋田県	36.9	山口県	26	20
	12歳	44.0	44.2	20	48.1	秋田県	42.5	島根県	30	20
	13歳	48.8	49.3	17	52.0	秋田県	47.7	千葉県、岐阜県、 兵庫県	15	17
	14歳	54.0	54.5	11	57.1	北海道	52.6	岐阜県	16	10
	15歳	58.6	59.2	19	61.3	青森県	57.0	愛知県	23	4
	16歳	60.6	60.9	22	63.0	大分県	58.9	埼玉県、愛知県	20	12
	17歳	62.4	63.4	8	65.2	秋田県	61.0	奈良県	33	5
女子	5歳	18.5	19.0	5	19.3	宮城県	18.0	京都府	36	26
	6歳	20.9	20.9	21	21.9	青森県	20.5	岐阜県、山口県、 高知県	23	38
	7歳	23.5	23.9	8	24.7	岩手県	22.8	山口県	12	29
	8歳	26.4	26.8	12	27.7	秋田県	25.7	奈良県	12	25
	9歳	30.0	30.1	20	31.8	秋田県	29.1	山口県	30	38
	10歳	34.1	33.8	36	36.3	青森県	33.2	愛知県	17	22
	11歳	39.1	38.4	41	41.0	青森県	37.5	愛知県	22	33
	12歳	43.7	44.4	9	45.4	青森県	43.0	奈良県	17	14
	13歳	47.2	47.8	11	49.4	青森県	46.1	奈良県	12	36
	14歳	49.9	50.8	8	51.8	青森県	49.1	神奈川県	41	14
	15歳	51.6	51.9	17	53.9	秋田県	50.8	滋賀県	16	9
16歳	52.5	53.7	5	55.2	秋田県	51.0	沖縄県	21	12	
17歳	52.9	53.8	7	54.4	福島県	51.6	岐阜県	33	36	

2 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

(1) 肥満傾向児および痩身傾向児の状況

ア 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率は、前年度と比較すると、男子は小学校、中学校、高等学校、女子は幼稚園、中学校、高等学校が増加している。(図9-1、図9-2)

図9-1 学校種別 肥満傾向児の推移(福井県)

男子

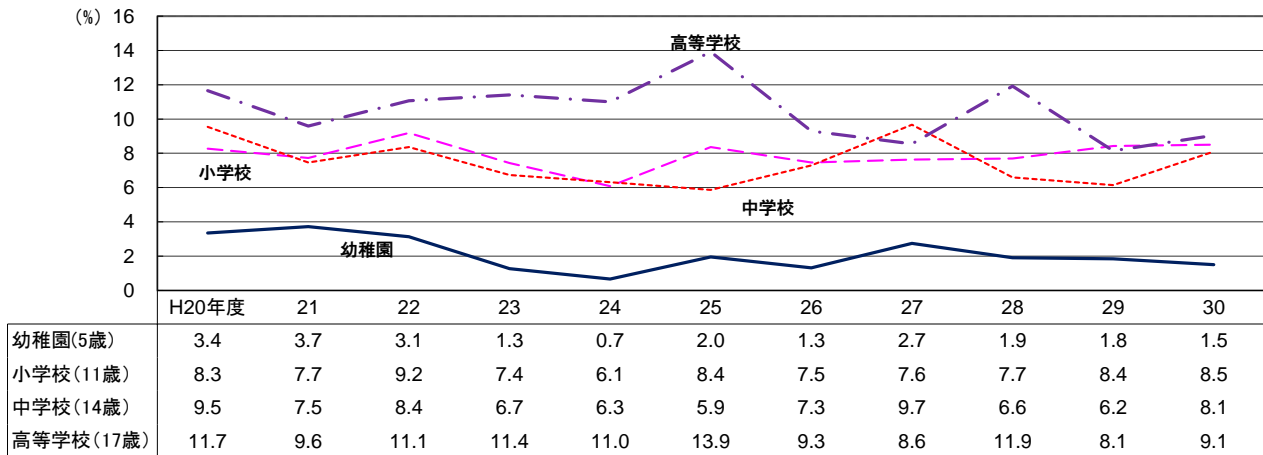
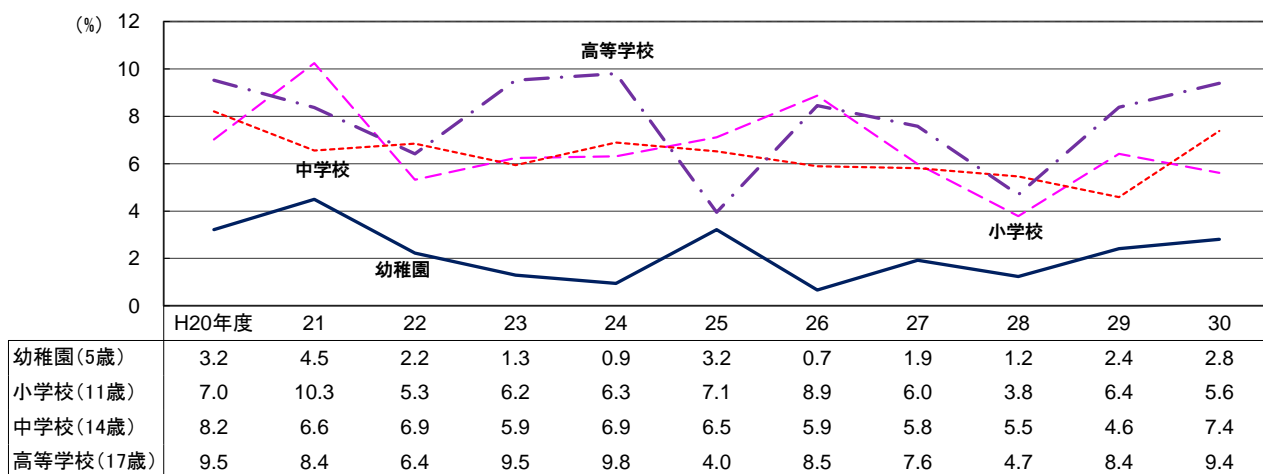


図9-2 学校種別 肥満傾向児の推移(福井県)

女子

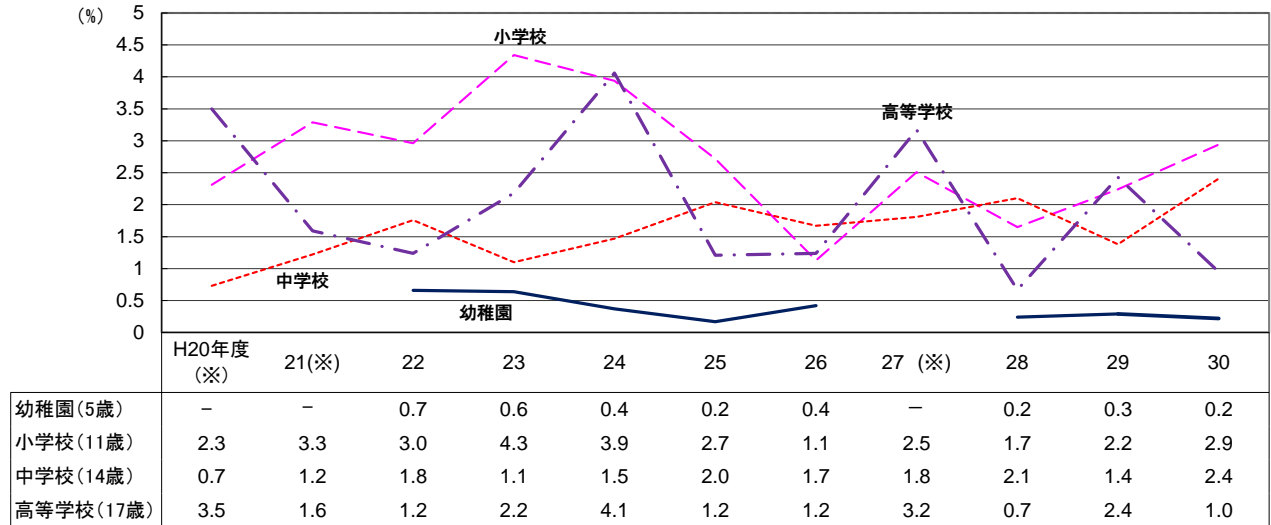


イ 瘦身傾向児

瘦身傾向児の出現率は、前年度と比較すると、男子は小学校、中学校、女子は幼稚園、小学校が増加している。(図10-1, 図10-2)

図10-1 学校種別 瘦身傾向児の推移 (福井県)

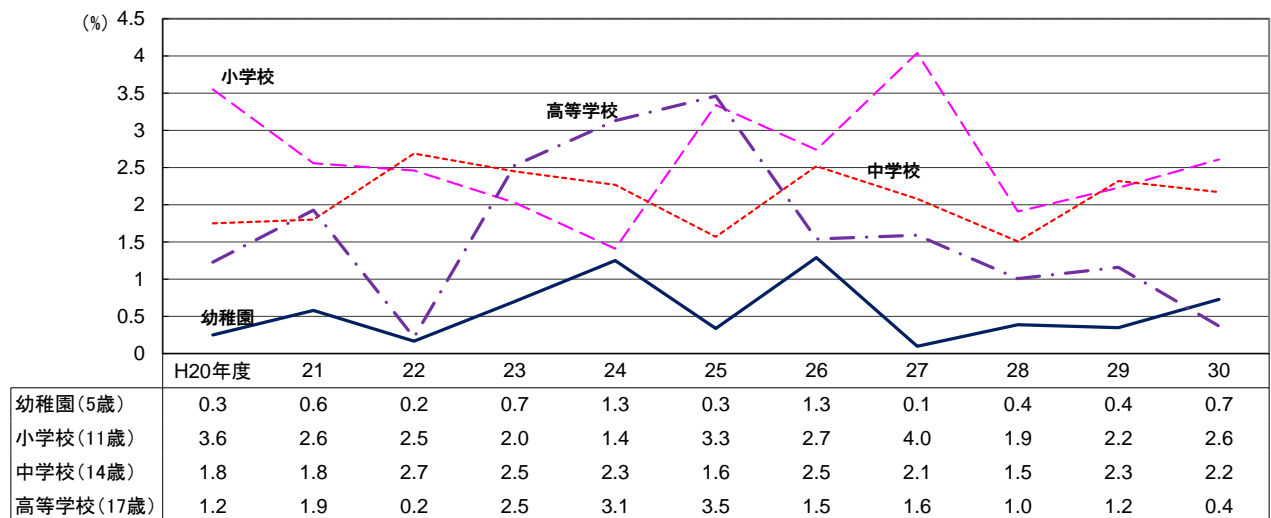
男子



※幼稚園のH20,21,27は該当者なし。

図10-2 学校種別 瘦身傾向児の推移 (福井県)

女子



(2) 全国との比較

ア 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率を全国平均と比較すると、男子は6歳、15歳を除いた各年齢が全国平均値を下回っている。女子は6歳から13歳の各年齢が全国平均値を下回っている。(図11-1、図11-2、表7)

平成20年度(10年前)と比較すると、男子は全国平均値を下回る年齢が増加しており、女子は全国平均値を下回る年齢が減少している。(表7)

都道府県で比較すると、男子の10歳では全国で2番目に出現率が低い。(表8)

図11-1 肥満傾向児の出現率(福井県・全国)

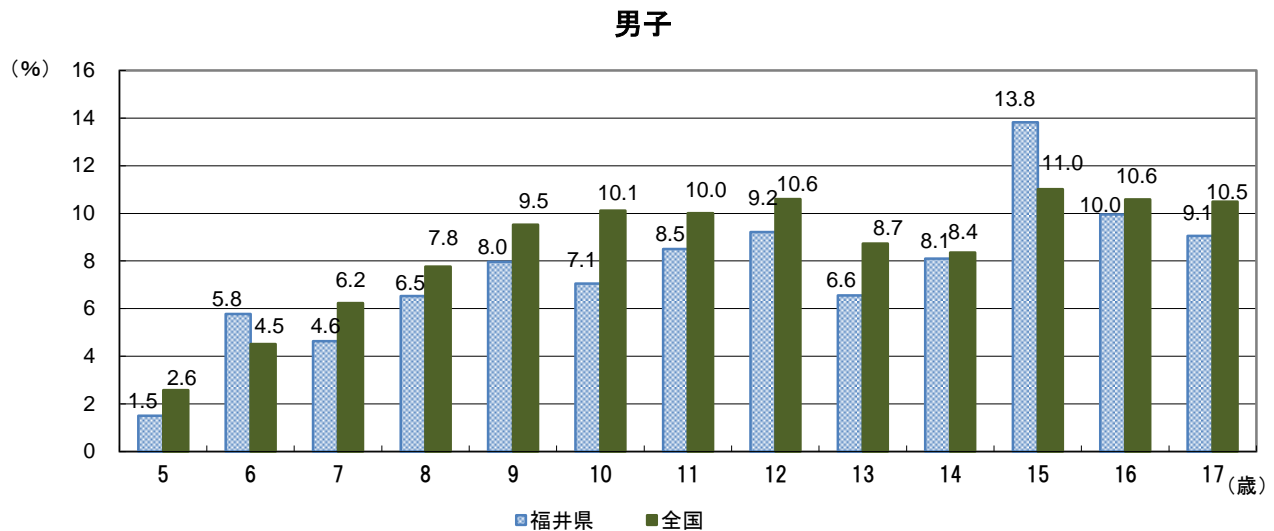


図11-2 肥満傾向児の出現率(福井県・全国)

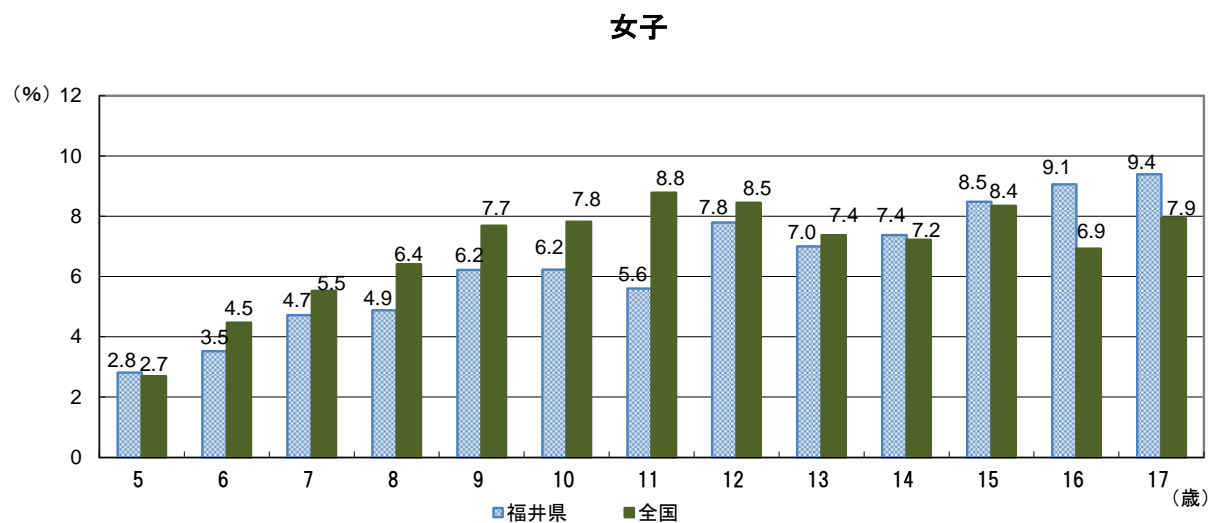


表7 全国平均値との比較（肥満傾向児の出現率）

(単位:%)

区 分	男子						女子						
	平成20年			平成30年			平成20年			平成30年			
	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	
幼稚園	5歳	3.4	2.9	0.5	1.5	2.6	▲ 1.1	3.2	2.8	0.4	2.8	2.7	0.1
	6歳	3.5	4.5	▲ 1.0	5.8	4.5	▲ 1.3	3.2	4.6	▲ 1.4	3.5	4.5	▲ 1.0
小学校	7歳	8.0	6.2	▲ 1.8	4.6	6.2	▲ 1.6	5.2	5.9	▲ 0.7	4.7	5.5	▲ 0.8
	8歳	6.6	8.0	▲ 1.5	6.5	7.8	▲ 1.2	4.5	7.2	▲ 2.7	4.9	6.4	▲ 1.5
	9歳	7.1	10.4	▲ 3.3	8.0	9.5	▲ 1.6	6.7	7.9	▲ 1.2	6.2	7.7	▲ 1.5
	10歳	9.0	11.3	▲ 2.3	7.1	10.1	▲ 3.1	7.8	9.4	▲ 1.7	6.2	7.8	▲ 1.6
	11歳	8.3	11.2	▲ 2.9	8.5	10.0	▲ 1.5	7.0	9.7	▲ 2.7	5.6	8.8	▲ 3.2
中学校	12歳	12.2	12.0	0.2	9.2	10.6	▲ 1.4	8.6	9.8	▲ 1.3	7.8	8.5	▲ 0.7
	13歳	8.1	10.3	▲ 2.2	6.6	8.7	▲ 2.2	7.9	9.1	▲ 1.2	7.0	7.4	▲ 0.4
	14歳	9.5	10.0	▲ 0.5	8.1	8.4	▲ 0.3	8.2	8.5	▲ 0.3	7.4	7.2	0.2
高等学校	15歳	10.3	13.5	▲ 3.2	13.8	11.0	2.8	9.2	9.6	▲ 0.4	8.5	8.4	0.1
	16歳	12.3	11.9	0.5	10.0	10.6	▲ 0.6	9.3	8.4	0.9	9.1	6.9	2.1
	17歳	11.7	12.3	▲ 0.7	9.1	10.5	▲ 1.4	9.5	8.6	0.9	9.4	7.9	1.5

(注) 数字は小数点第2位を四捨五入したもの。四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

表8 本県の順位（肥満傾向児の出現率）

(単位: %、位)

区分		全国平均	県平均	順位	最低値		最高値	
男 子	5歳	2.6	1.5	41	1.2	石川県	8.3	宮城県
	6歳	4.5	5.8	12	2.7	京都府	8.4	秋田県
	7歳	6.2	4.6	38	3.1	滋賀県	9.9	秋田県
	8歳	7.8	6.5	35	4.3	京都府	14.2	青森県
	9歳	9.5	8.0	41	6.4	東京都	15.4	山形県
	10歳	10.1	7.1	46	6.9	神奈川県	16.6	栃木県
	11歳	10.0	8.5	36	6.3	静岡県	18.1	秋田県
	12歳	10.6	9.2	35	6.4	滋賀県	18.5	秋田県
	13歳	8.7	6.6	45	5.5	長崎県	16.2	北海道
	14歳	8.4	8.1	27	5.0	埼玉県	13.3	北海道
	15歳	11.0	13.8	11	7.5	滋賀県	19.8	青森県
	16歳	10.6	10.0	30	7.6	新潟県	16.7	大分県
	17歳	10.5	9.1	36	7.5	三重県	16.3	青森県
女 子	5歳	2.7	2.8	19	1.1	奈良県	7.2	福島県
	6歳	4.5	3.5	39	1.9	富山県	8.3	青森県
	7歳	5.5	4.7	36	3.0	和歌山県	10.0	岩手県
	8歳	6.4	4.9	43	4.1	東京都	11.6	山形県
	9歳	7.7	6.2	38	5.1	新潟県	13.3	栃木県
	10歳	7.8	6.2	44	4.5	愛知県	12.1	宮城県
	11歳	8.8	5.6	45	5.2	山梨県	14.6	福島県
	12歳	8.5	7.8	30	6.2	千葉県	12.6	福島県
	13歳	7.4	7.0	29	4.6	奈良県	12.0	宮城県
14歳	7.2	7.4	29	4.7	京都府	12.2	青森県	
15歳	8.4	8.5	23	6.2	愛知県	13.1	福島県	
16歳	6.9	9.1	11	3.4	京都府	12.5	山形県	
17歳	7.9	9.4	19	5.0	神奈川県	12.1	栃木県	

※数値は小数点第2位を四捨五入している

イ 痩身傾向児

痩身傾向児の出現率を全国平均と比較すると、男子は6歳から9歳、12歳、14歳を除いた各年齢が全国平均値を下回っている。女子は5歳、10歳、15歳を除いた各年齢が全国平均値を下回っている。(図12-1、図12-2、表9)

平成20年度(10年前)と比較すると、男女ともに全国平均値を下回る年齢が増加している。(表9)

都道府県で比較すると、女子の17歳が富山県と並び全国で最も出現率が低い。(表10)

図12-1 痩身傾向児の出現率(福井県・全国)

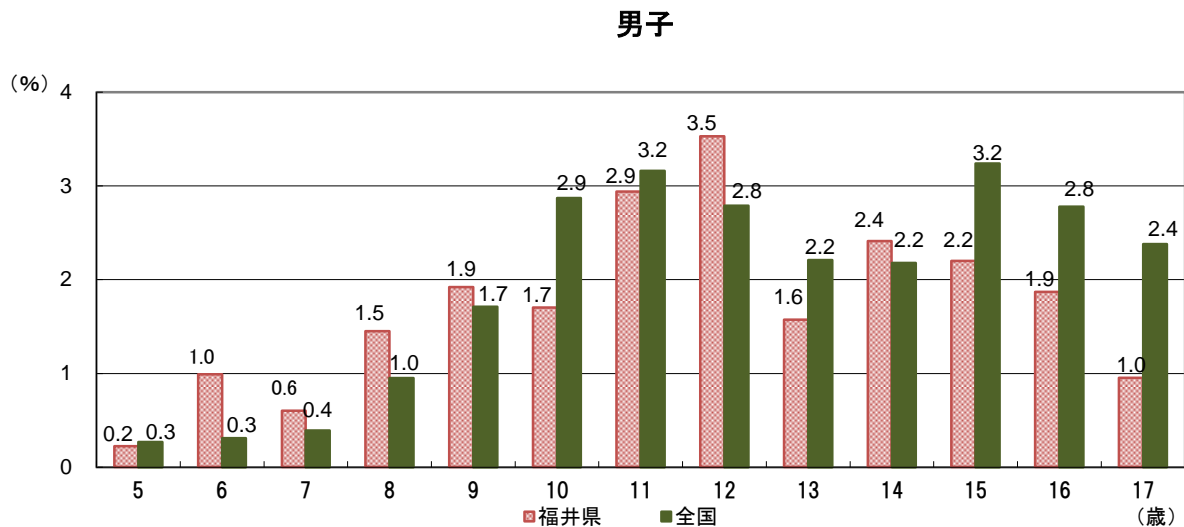


図12-2 痩身傾向児の出現率(福井県・全国)

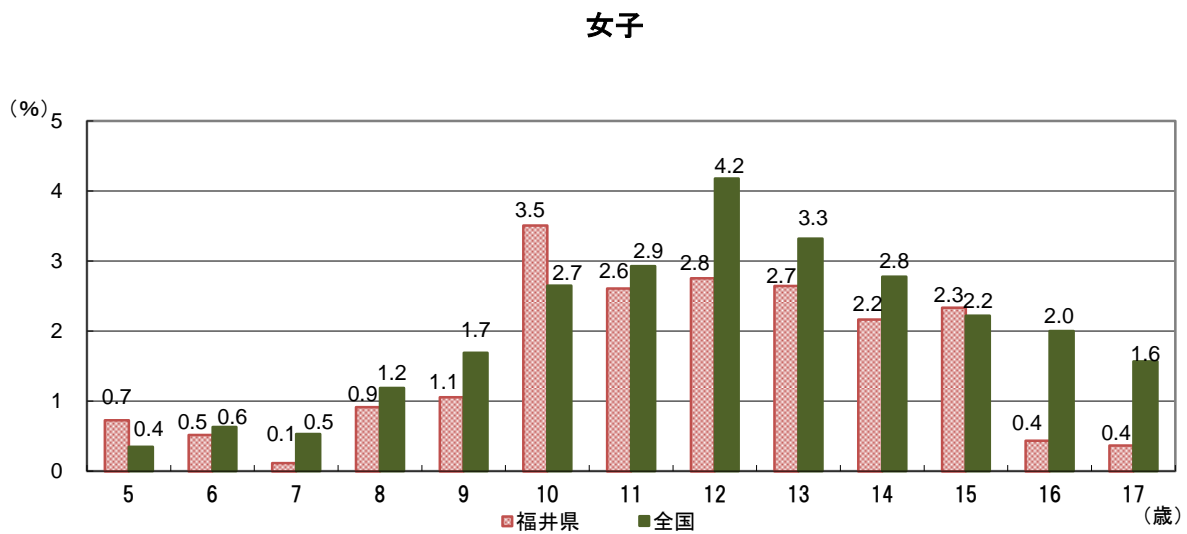


表9 全国平均値との比較 (痩身傾向児の出現率)

(単位:%)

区 分		男子						女子					
		平成20年			平成30年			平成20年			平成30年		
		福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)	福井県 a	全 国 b	差 (a-b)
幼稚園	5歳	-	0.4	-	0.2	0.3	▲ 0.1	0.3	0.5	▲ 0.3	0.7	0.4	0.4
	6歳	-	0.5	-	1.0	0.3	0.7	0.5	0.5	▲ 0.1	0.5	0.6	▲ 0.1
小学校	7歳	0.2	0.4	▲ 0.2	0.6	0.4	0.2	0.7	0.6	0.1	0.1	0.5	▲ 0.4
	8歳	1.1	0.8	0.3	1.5	1.0	0.5	0.4	1.0	▲ 0.6	0.9	1.2	▲ 0.3
	9歳	2.3	1.3	1.1	1.9	1.7	0.2	1.7	1.5	0.2	1.1	1.7	▲ 0.6
	10歳	3.6	2.4	1.2	1.7	2.9	▲ 1.2	1.8	2.4	▲ 0.6	3.5	2.7	0.9
	11歳	2.3	2.8	▲ 0.4	2.9	3.2	▲ 0.2	3.6	2.7	0.9	2.6	2.9	▲ 0.3
中学校	12歳	2.2	2.3	▲ 0.0	3.5	2.8	0.7	2.9	3.9	▲ 1.0	2.8	4.2	▲ 1.4
	13歳	1.9	1.7	0.3	1.6	2.2	▲ 0.6	3.9	3.4	0.5	2.7	3.3	▲ 0.7
	14歳	0.7	1.8	▲ 1.0	2.4	2.2	0.2	1.8	2.7	▲ 0.9	2.2	2.8	▲ 0.6
高等学校	15歳	1.7	2.2	▲ 0.6	2.2	3.2	▲ 1.0	1.5	2.5	▲ 1.0	2.3	2.2	0.1
	16歳	0.5	1.8	▲ 1.3	1.9	2.8	▲ 0.9	1.1	2.1	▲ 0.9	0.4	2.0	▲ 1.6
	17歳	3.5	2.0	1.5	1.0	2.4	▲ 1.4	1.2	1.7	▲ 0.5	0.4	1.6	▲ 1.2

(注)数値は小数点第2位を四捨五入したもの。四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

表10 本県の順位（瘦身傾向児の出現率）

（単位：％、位）

区分	全国平均	県平均	順位	最低値		最高値		
男 子	5歳	0.3	0.2	28	該当者なし	宮城県、山形県、群馬県、奈良県、島根県、山口県、佐賀県、沖縄県	1.5	長野県
	6歳	0.3	1.0	1	該当者なし	北海道、石川県、大阪府、島根県、広島県、宮崎県	1.0	福井県
	7歳	0.4	0.6	12	該当者なし	福島県、東京都、石川県、山梨県、山口県、香川県、熊本県、鹿児島県、沖縄県	1.6	岡山県
	8歳	1.0	1.5	10	該当者なし	岩手県	2.2	北海道
	9歳	1.7	1.9	14	0.3	宮崎県	3.1	愛媛県
	10歳	2.9	1.7	41	0.9	長野県	5.2	神奈川県
	11歳	3.2	2.9	25	1.1	鹿児島県	5.0	千葉県
	12歳	2.8	3.5	6	1.4	広島県	4.6	京都府
	13歳	2.2	1.6	33	0.7	秋田県	3.7	千葉県
	14歳	2.2	2.4	15	0.7	徳島県	3.0	富山県
	15歳	3.2	2.2	38	0.8	岩手県	5.4	山梨県
	16歳	2.8	1.9	32	0.4	熊本県	5.5	広島県
	17歳	2.4	1.0	45	0.9	宮崎県	4.4	徳島県
女 子	5歳	0.4	0.7	9	該当者なし	宮城県、山形県、福島県、富山県、山梨県、奈良県、島根県、高知県	1.7	石川県
	6歳	0.6	0.5	26	該当者なし	福島県、香川県、長崎県、鹿児島県	2.1	京都府
	7歳	0.5	0.1	43	該当者なし	福島県、茨城県、群馬県、熊本県	1.2	石川県
	8歳	1.2	0.9	25	該当者なし	岡山県	3.2	長野県
	9歳	1.7	1.1	36	0.2	佐賀県	3.1	青森県
	10歳	2.7	3.5	4	0.8	栃木県	4.4	愛知県
	11歳	2.9	2.6	22	1.5	栃木県	4.5	奈良県
	12歳	4.2	2.8	41	1.9	宮城県	6.1	奈良県
	13歳	3.3	2.7	36	1.8	沖縄県	5.3	奈良県
	14歳	2.8	2.2	25	1.2	高知県	4.2	神奈川県
	15歳	2.2	2.3	18	0.2	徳島県	4.2	鹿児島県
16歳	2.0	0.4	45	該当者なし	宮崎県	4.3	沖縄県	
17歳	1.6	0.4	46	0.4	富山県、福井県	3.2	山梨県	

※数値は小数点第2位を四捨五入している

【参考】肥満傾向児・痩身傾向児の算出方法について

以下の式により、性別・年齢別に身長別標準体重から肥満度（過体重度）を求め、肥満度（過体重度）が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児とする。

$$\text{肥満度（過体重度）} = \left[\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)} \right] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重の求め方
(係数 a, b は表を参照)

$$\text{身長別標準体重} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339

3 健康状態調査

(1) 疾病・異常等の状況

平成30年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の疾病・異常等の状況は表11のとおりである。

表11 健康状態調査結果表

(単位:%)

区分		合計				男子				女子				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
裸眼視力	計(1.0未満)	X	35.3	60.0	72.9	X	32.5	57.1	70.9	X	38.3	63.0	74.9	
	1.0未満~0.7以上	X	10.8	9.3	7.9	X	10.5	9.7	7.7	X	11.1	8.8	8.2	
	0.7未満~0.3以上	X	13.8	16.8	17.8	X	12.5	17.4	20.2	X	15.2	16.2	15.4	
	0.3未満	X	10.8	33.9	47.2	X	9.5	30.0	43.0	X	12.1	38.0	51.4	
眼の疾病・異常		1.1	1.6	1.2	0.8	1.1	1.6	1.1	0.9	1.1	1.7	1.2	0.7	
難聴		...	0.3	0.2	0.2	...	0.3	0.3	0.2	...	0.4	0.2	0.2	
耳鼻咽喉頭	耳疾患	1.0	1.3	1.3	0.5	1.8	1.2	1.3	0.5	0.2	1.4	1.3	0.5	
	鼻・副鼻腔疾患	2.2	6.1	7.7	2.8	3.5	7.2	8.8	1.7	0.9	4.9	6.5	3.9	
	口腔咽喉頭疾患・異常	1.1	1.2	2.0	0.3	0.8	1.0	2.0	0.2	1.3	1.4	2.1	0.3	
歯・口腔	むし歯	計	47.0	54.2	46.2	62.0	X	55.5	44.5	61.2	45.6	52.9	48.0	62.8
		処置完了者	20.5	28.4	28.1	35.9	X	28.6	26.4	34.1	20.9	28.2	30.0	37.7
		未処置歯のある者	26.5	25.8	18.1	26.1	X	26.8	18.2	27.1	24.7	24.7	18.1	25.1
	歯列・咬合	4.6	3.6	4.3	4.0	4.7	3.3	4.7	2.8	4.5	4.0	4.0	5.2	
	顎関節	-	0.0	0.2	0.1	-	0.1	0.1	0.0	-	0.0	0.2	0.1	
	歯垢の状態	2.6	2.8	4.9	5.8	2.7	3.2	6.3	6.1	2.4	2.4	3.5	5.5	
	歯肉の状態	0.0	1.1	4.6	5.3	-	1.4	6.2	6.6	0.1	0.9	3.0	3.9	
	その他の疾病・異常	2.6	7.3	5.2	3.5	2.4	7.2	6.2	3.6	2.8	7.4	4.1	3.5	
永久歯の1人当り(う歯)等数	計(本)	1.1	1.0	1.2	...	
	喪失歯数(本)	0.0	0.0	0.0	...	
	むし歯	計(本)	1.1	1.0	1.2	...
		処置歯数(本)	0.8	0.7	0.9	...
		未処置歯数(本)	0.3	0.3	0.3	...
栄養状態	-	1.6	1.3	1.1	-	1.9	1.3	0.8	-	1.3	1.3	1.3		
せき柱・胸郭・四肢の状態	-	0.5	1.3	0.8	-	0.5	1.4	0.7	-	0.5	1.3	0.9		
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	2.5	4.5	3.1	2.3	3.2	4.7	3.6	2.4	1.8	4.2	2.7	2.3	
	その他の皮膚疾患	1.4	0.8	0.6	0.2	2.1	0.8	0.6	0.2	0.6	0.8	0.6	0.2	
結核の精密検査の対象者		...	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	...	
結核		...	-	-	-	...	-	-	-	...	-	-	-	
心臓の疾病・異常		1.5	1.1	0.6	0.7	2.3	1.0	0.5	0.9	0.7	1.2	0.7	0.5	
心電図異常		...	1.6	1.3	0.5	...	1.7	1.3	0.7	...	1.6	1.3	0.3	
たんぱく検出の者		0.5	0.2	2.9	3.3	0.9	0.2	3.5	3.5	0.2	0.2	2.2	3.0	
尿糖検出の者		...	0.1	0.2	0.3	...	0.0	0.1	0.3	...	0.1	0.2	0.2	
疾病・異常	ぜん息	3.3	2.3	2.0	1.5	2.5	2.8	2.3	1.5	4.2	1.8	1.8	1.5	
	腎臓疾患	-	0.1	0.1	0.2	-	0.2	0.1	0.2	-	0.1	0.2	0.2	
	言語障害	1.5	0.2	0.2	0.1	2.3	0.2	0.2	0.1	0.7	0.1	0.1	0.1	
	その他の疾病・異常	1.1	5.7	7.9	3.3	0.5	7.1	8.8	3.1	1.6	4.2	7.0	3.5	

(注)1 この表は健康診断受検者のうち、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者)の占める割合を示したものである。

2 小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある。また、表中の符号については、P2下の囲みを参照のこと。

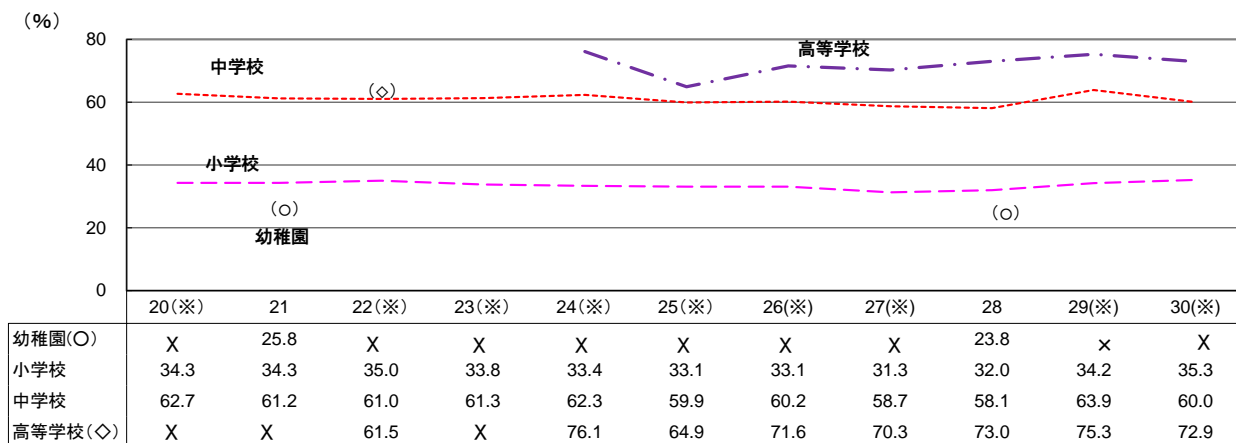
(2) 主な疾病・異常等の推移

ア 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校は 35.3%、中学校は 60.0%、高等学校は 72.9%となっており、小学校は前年度から増加しているが、中学校および高等学校では前年度から減少している。

ここ 10 年間（平成 20 年度以降）の推移をみると、小学校、中学校および高等学校はほぼ横ばいで推移している。（図 1 3）

図 1 3 学校種別 裸眼視力 1.0 未満の者の推移（福井県）



※幼稚園のH20、H22～27およびH29～30、高等学校のH20～21は未公表。高等学校のH23は調査対象となる受検者がいないため該当者なし。

全国平均と比較すると、平成 20 年度（10 年前）は小学校および中学校、平成 30 年度は小学校、中学校および高等学校が全国平均値を上回っている。

また、視力の内訳をみると、平成 20 年度の小学校および中学校、平成 30 年度の小学校、中学校および高等学校において、0.3 未満の者の割合が全国を上回っている。（表 1 2）

表 1 2 全国平均値との比較（裸眼視力 1.0 未満の者の割合）

(単位:%)

区 分	平成20年度								平成30年度							
	福井県				全国				福井県				全国			
	裸眼視力	うち	うち	うち	裸眼視力	うち	うち	うち	裸眼視力	うち	うち	うち	裸眼視力	うち	うち	うち
1.0 未満の者	0.7以上 1.0未満 の者	0.3以上 0.7未満 の者	0.3 未満 の者	0.3 未満 の者	1.0 未満の者	0.7以上 1.0未満 の者	0.3以上 0.7未満 の者	0.3 未満 の者	1.0 未満の者	0.7以上 1.0未満 の者	0.3以上 0.7未満 の者	0.3 未満 の者	1.0 未満の者	0.7以上 1.0未満 の者	0.3以上 0.7未満 の者	0.3 未満 の者
幼稚園	x	x	x	x	28.9	22.0	6.1	0.8	X	X	X	X	26.7	19.0	6.8	0.9
小学校	34.3	10.8	13.4	10.1	29.9	11.2	11.6	7.1	35.3	10.8	13.8	10.8	34.1	12.0	12.8	9.3
中学校	62.7	10.4	17.5	34.8	52.6	12.4	17.8	22.4	60.0	9.3	16.8	33.9	56.0	11.3	19.2	25.5
高等学校	X	X	X	X	58.0	12.6	17.1	28.4	72.9	7.9	17.8	47.2	67.1	11.4	16.6	39.1

※福井県の平成20年度の幼稚園、高等学校および平成30年度の幼稚園の調査結果は未公表。

四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

【裸眼視力の取扱いについて】

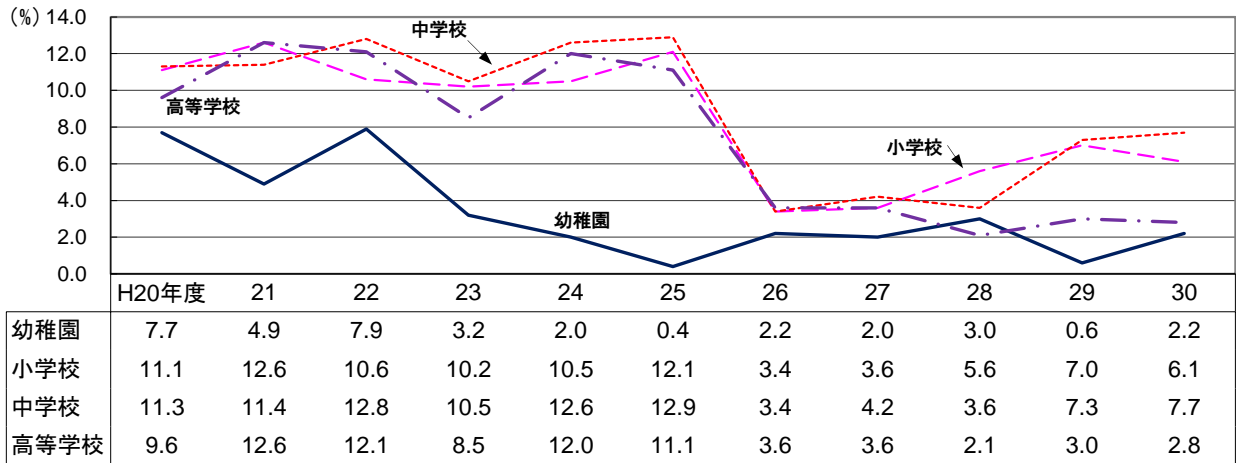
裸眼視力検査では、視力を矯正している者（眼鏡またはコンタクトレンズ装着者）が、裸眼視力検査を省略した場合は、その者の所属する学級の全員を調査対象外とする。

イ 鼻・副鼻腔疾患の者

鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎等）の者の割合は、幼稚園は2.2%、小学校は6.1%、中学校は7.7%、高等学校は2.8%となっている。

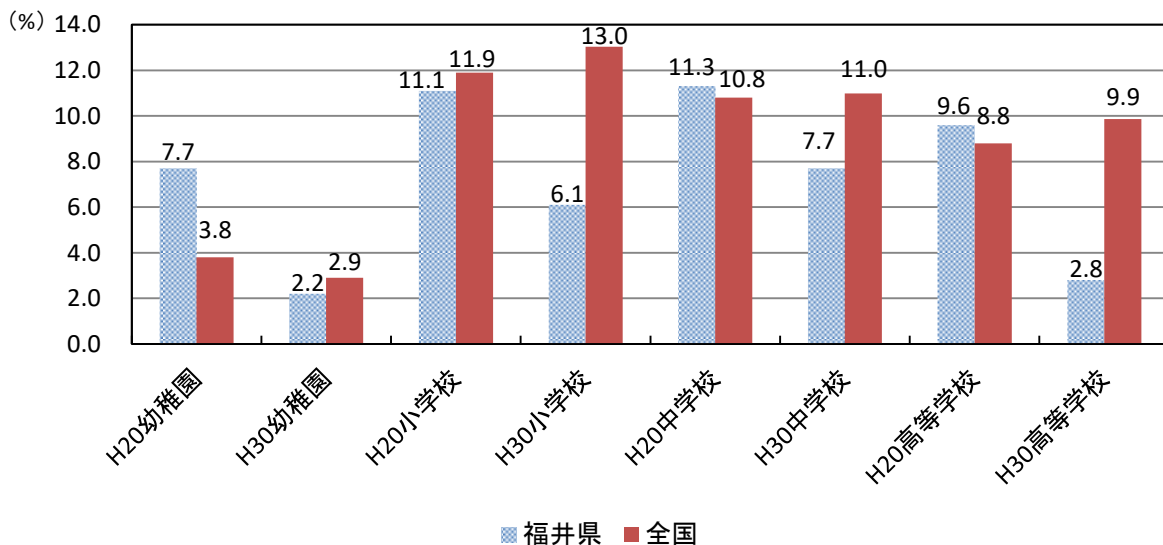
ここ10年間（平成20年度以降）の推移をみると、小学校、中学校、高等学校はおおむね横ばい傾向から平成26年度に大幅に減少、小学校および中学校は平成28年度から平成29年度は増加傾向となった。なお、今年度は幼稚園および中学校で増加、小学校および高等学校で減少している。（図14-1）

図14-1 学校種別 鼻・副鼻腔疾患の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成20年度は小学校において、全国平均値を下回っている。また、平成30年度はすべての学校種別において全国平均値を下回っており、特に小学校と高等学校で全国との差が大きい。（図14-2）

図14-2 全国平均値との比較（鼻・副鼻腔疾患の者の割合）

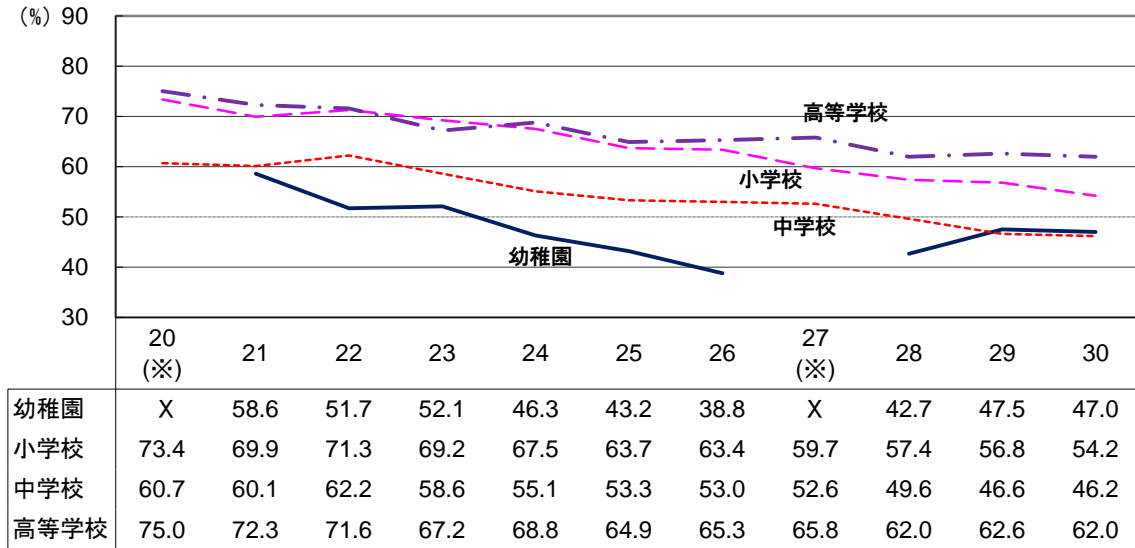


ウ むし歯（う歯）の者

むし歯の者の割合（処置完了者を含む）は、幼稚園は47.0%、小学校は54.2%、中学校は46.2%、高等学校は62.0%となっている。すべての学校種別で前年度より減少している。

ここ10年間（平成20年度以降）の推移をみると、小学校、中学校、高等学校は緩やかな減少傾向にある。（図15）

図15 学校種別 むし歯の者の推移（福井県）



※幼稚園のH20,27は未公表。

全国平均と比較すると、平成20年度（10年前）および平成30年度ともに、すべての学校種別において全国平均値を上回っている。（表13）

表13 全国平均値との比較（むし歯の者の割合）

(単位: %)

区分	平成20年度						平成30年度					
	福井県			全国			福井県			全国		
	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 の	計	者処 置完 了の	あ未 る処 置者 の
幼稚園	x	x	x	50.3	20.3	29.9	47.0	20.5	26.5	35.1	13.6	21.5
小学校	73.4	34.0	39.4	63.8	30.9	32.9	54.2	28.4	25.8	45.3	23.1	22.2
中学校	60.7	31.0	29.7	56.0	30.4	25.6	46.2	28.1	18.1	35.4	20.4	15.0
高等学校	75.0	42.6	32.4	65.5	36.0	29.5	62.0	35.9	26.1	45.4	27.1	18.3

※福井県の平成20年度の幼稚園の調査結果は未公表。
四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

表14 永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）本数の推移（12歳のみ調査）

(単位: 本)

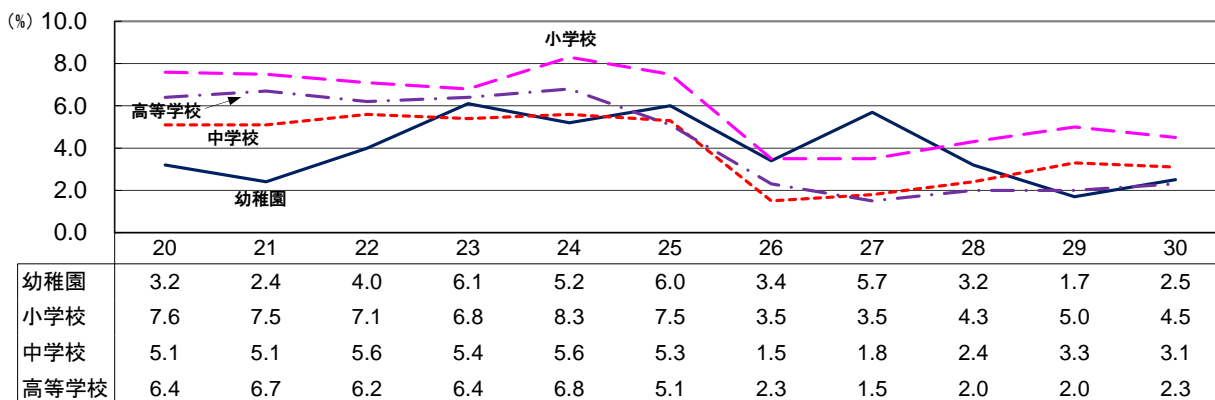
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
福井県	1.4	1.4	1.2	1.1	1.1
全国	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7

エ アトピー性皮膚炎の者

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園は2.5%、小学校は4.5%、中学校は3.1%、高等学校は2.3%となっている。幼稚園および高等学校は前年度から増加しているが、小学校、中学校は前年度から減少している。

ここ10年間（平成20年度以降）の推移をみると、小学校、中学校および高等学校は平成26年度に大幅に減少したが、それ以降は小学校および中学校はおおむね横ばい傾向にある。（図16-1）

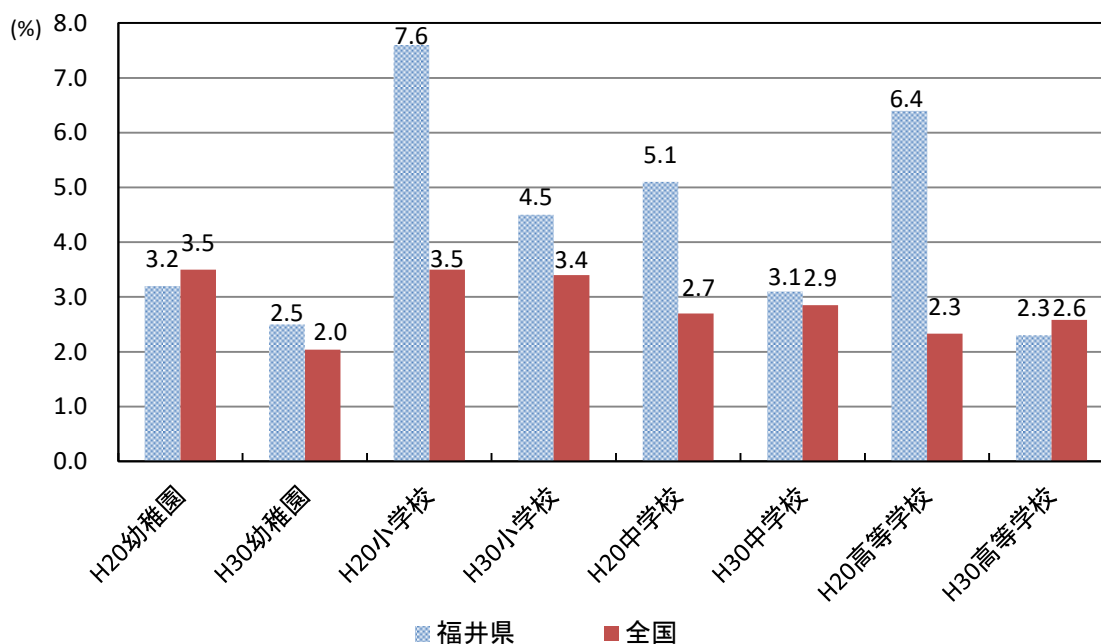
図16-1 学校種別 アトピー性皮膚炎の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成20年度（10年前）は、小学校、中学校および高等学校において全国平均値を上回っており、平成30年度は、幼稚園、小学校および中学校において全国平均値を上回っている。

また、幼稚園以外では平成20年度から平成30年度にかけて全国との差が小さくなっている。（図16-2）

図16-2 全国平均値との比較（アトピー性皮膚炎の者の割合）

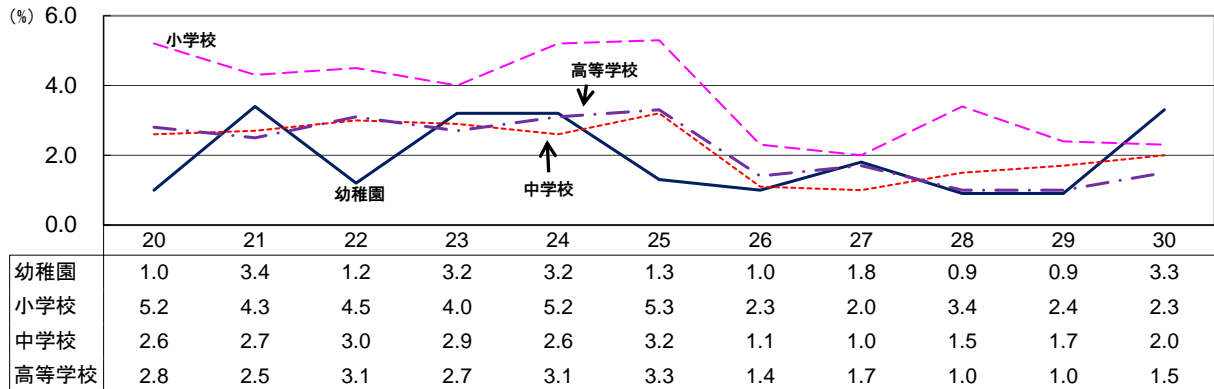


オ ゼン息の者

ぜん息の者の割合は、幼稚園は3.3%、小学校は2.3%、中学校は2.0%、高等学校は1.5%となっている。小学校は前年度より減少しているが、幼稚園、中学校、高等学校は前年度より増加している。

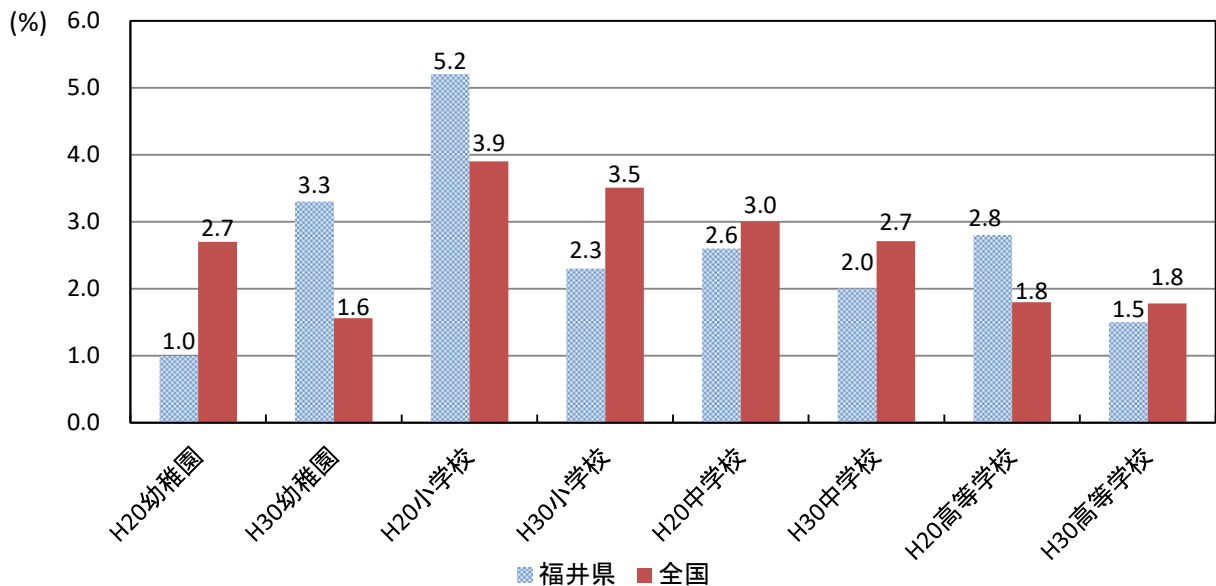
ここ10年間（平成20年度以降）の推移をみると、小学校、中学校、高等学校はおおむね横ばい傾向から平成26年度に減少し、それ以降、中学校および高等学校はおおむね横ばい傾向にある。（図17-1）

図17-1 学校種別 ゼン息の者の推移（福井県）



全国平均と比較すると、平成20年度（10年前）は幼稚園および中学校は全国平均値を下回っており、平成30年度は幼稚園以外は全国平均値を下回っている。（図17-2）

図17-2 全国平均値との比較（ぜん息の者の割合）



あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県